



かりがね



目指す学校像

活力が満ち、
さわやかで、

心なごむ学校

生徒数 151名(1年生 51名 2年生 55名 3年生 45名)

芳野中学校の校訓「自立・礼節・創造」

12月になり、3年生にとっては進路の実現に向けた高校受験が、日一日と近づいているところです。まもなく行われる3者面談に合わせて面接練習をする予定ですが、実際の入試での面接では、「あなたの学校の校訓は何ですか。」と問われることがあるかもしれません。芳野中の皆さんは、自分の学校の校訓が何なのか、知っていますか。というより、「普段から校訓を意識して学校生活を過ごしていますか。」と問いたいところです。

まず、校訓とは何か、しっかりと理解しなければなりません。学校には「学校教育目標」があります。これは、学校が自校の生徒を3年間かけてどんな生徒に育てたいかという目標です。芳野中学校では学校教育目標を「心豊かにたくましく生きる生徒」と定めています。151名の生徒たちが、授業や学校行事や生徒会活動や部活動等を通して、豊かな心を育み、何事にもくじけずに前向きにたくましく生きていけるように育ててほしい、そういう生徒に育てたいという目標です。この目標の実現に向けて、芳野中は日々、教育活動を進めています。

では、何のために「校訓」があるのか。「校訓」は、この学校教育目標を実現するために、生徒たちが日々の学校生活の中で常に意識してほしい心構えです。本校の校訓は「自立・礼節・創造」です。皆さんは、日頃からこの校訓を意識して学校生活を送っているでしょうか。一例を挙げると、

- 「自立」** ○日々の生活で起きたトラブルに自分自身で向き合い、その解決に努めていますか。
○毎日の学習や係活動、清掃等に自分から進んで取り組んでいますか。
○人の意見に安易に流されることなく、自分なりの価値観や考えを持っていますか。
- 「礼節」** ○「おはようございます」や「さようなら」等の挨拶を、自分から言えますか。
○「ありがとう」や「ごめんなさい」等、感謝や謝罪の言葉を自然と口に出せますか。
○目上の人はもちろん、友達や地域の身近な人たちにも礼儀正しく接していますか。
- 「創造」** ○現状に満足せず、どうすればもっと良くなるか、前向きに考えていますか。
○何かにチャレンジして感動を得たり、何かを生み出す喜びを味わったりしていますか。
○新たに出合ったものに興味や関心をもち、積極的に関わろうとしていますか。

ここに挙げたのは一例に過ぎませんが、校訓「自立・礼節・創造」を肝に銘じ、毎日の学校生活を過ごすことで、皆さんは「心豊かにたくましく生きる生徒」へと成長できるのです。

校訓は、芳野中学校71年の歴史の中で、本校を卒業した皆さんのお父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんが大切にしてきた本校の伝統であり、誇りです。だから、芳野中で学ぶ皆さんは、この校訓を大切に学校生活を過ごしてください。特に3年生は、卒業まで残り三か月です。校訓「自立・礼節・創造」を身に付け、学校教育目標を実現して、卒業という晴れ舞台を迎えてください。そして、新たに入学してくる次の代に、この「校訓」をバトンタッチしてください。



12月の主な行事予定

1	金	市ダンス発表会 登校指導(～12/7)
5	火	全校朝会
6	水	3年三者面談①
7	木	3年三者面談②
8	金	3年三者面接③ 1年歯科保健指導
9	土	校内駅伝大会
11	月	3年三者面談④ 部長会
12	火	生徒朝会 3年租税教室
13	水	学校評議員会議
14	木	集専門委員会
19	火	短縮日課 5校時
20	水	短縮日課 4校時 給食最終日
21	木	短縮日課 3校時(集会・学活・大掃除)
22	金	終業式 3年通知書配布
23	土	天皇誕生日
25	月	冬季休業日(～1/7、1/8は成人の日)
29	金	閉庁日(～1/3)
30	土	
31	日	

※詳細な日程・予定等は各学年だより等を参照下さい。

福祉体験学習を行いました。

11月30日(木)、地域の方々と市の社会福祉協議会、地域包括支援センター「よしの」の協力をいただき、全校で福祉体験学習を実施しました。1年生はブラインドウォークと車いす体験、2年生は手話と点字の体験にそれぞれ取り組み、3年生は認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターの資格を取得しました。芳野地区は高齢の方々も大勢暮らしている地区です。お年寄りの世代、保護者の皆さんの世代、そして生徒たちの世代の三世代が共助の精神で暮らしていくことの大切さを、体験を通して学ぶことができました。協力いただいた皆様、ありがとうございました。



学校評価をいただきました。

先日、子供たちを通じて各ご家庭に学校評価のお願いをしました。多くのご家庭から回答をいただきました。ありがとうございました。

学校評価は、以下の3つを目的として実施します。

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

皆様からいただいた評価と学校職員による自己評価を基に成果と課題を検証し、学校評議員の皆様からさらに評価していただいた上で、次年度の教育計画の立案に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。